

「英訳マンガから見る英語表現の一考察—『僕のヒーローアカデミア』を事例として」
(『新教育課程研究』第42号、武蔵野教育研究会、令和6年1月)、1-57頁

「プロローグ」「1 堀越耕平『僕のヒーローアカデミア』」「2 『僕のヒーローアカデミア』と My Hero Academia」「エピローグ」の順で論じた。扱った第1巻は内容的に中学3年生の緑谷出久ということもあり、多感な時期の年齢を扱っているだけに英語表現にこだわらず、周囲との人間関係、自分が他と違うというコンプレックスを持ちながらヒーローになりたいという気持ちが交錯する点は人間の成長と言う観点からも注目に値する作品である。英語表現や内容から教材としての可能性を探った。(A5)